

# 公共施設の最適化構想（原案）への市民意見募集結果

- 1 募集期間：令和2年12月14日(月)から令和3年1月22日(金)
- 2 提出件数：115人 233件
- 3 意見要旨及び市の考え方  
 取扱区分：A(意見を反映)0件、B(実施にあたり考慮)4件、C(原案に考慮済み)0件、D(説明・回答)22件

該当箇所	意見概要	件数	取扱区分	市の考え方
構想全体	最適化構想の定義は何か。市民サービスの低下ではないか。	3	D	本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況です。「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方をお示しするものです。
	まずは、前提として「市民意見募集」の在り方への意見を述べる。かつては「広報あしや」に募集の件名とともに、その説明も付して掲載された。ところが今回は件名だけ。主権者たる市民に大いに意見・提案を出してほしいとの意欲の後退(欠如)を感じる。11件もの意見募集であるから、当然ながら関係するテーマ(とくに総合計画、行財政改革、公共施設などは個々の施策にすべて関わる)があるが、応募する際は「個々の件名に応じて」ということになっている。以上のように、「市民意見募集」についての「総論的な意見」も出しやすくしていただきたい。	1	D	市民意見募集の在り方につきましては、「広報あしや」では、多くの方に手にとってご覧いただけるよう、文字を大きくし写真を多用するなど視覚的な読みやすさの工夫に努めており、紙面では主だった項目の掲載にとどめ、詳細については市ホームページにてお知らせしているところです。各計画のパブリックコメント募集では、「広報あしや」で各計画の概要までお伝えするには相当な紙面スペースの確保が必要となるため、スマートフォンなどからも市ホームページへのアクセスが可能なQRコードを表示することにより、各計画の詳細のご確認とともに、パブリックコメントを送信いただける募集フォームを掲載し、ご意見をいただきやすいよう取り組んでいるところです。ご理解いただけますようお願い申し上げます。また、複数の計画に関連するご意見の受付につきましては、今後は、提出方法のわかりやすい説明を加えるなど、周知方法を見直してまいります。
	まずは職員の人件費を削減するべき	2	B	本市は、既に人口減少局面に入っており、職員の減少も想定しております。新行財政改革基本計画では、ICT等新たな技術を効果的に活用することで実現させる「業務変革」により、職員数が減少しても市民サービスが向上できるよう取り組んでまいります。
その他		10		
	① 公共施設は全てPFI方式に見直してはいかが？(管理人件費の削減。打出教育文化センター含む)		B	新行財政改革基本計画において、官民連携を活用したコスト削減に取り組むこととしています。今後も官民に捉われない施設の効率的な運営を進めてまいります。
	② 市が公共施設全体の管理を一括して民間に委託したことはたいへん乱暴なものだ。		D	平成31年度から公共施設(52施設)の維持管理等の業務をまとめて発注する包括管理業務委託を実施し、施設管理一元化による安全・安心の向上、効率的な施設運営等に取り組んでいるところです。今後も官民に捉われない施設の効率的な運営を進めてまいります。
	③ 公共施設の最適化構想は、まず現状の課題として人口減少をあげ、厳しい財政状況を想定し、それを踏まえていきなりプロジェクトの概要として、春日集会所の閉鎖や山手地区の小学校1校の閉校などを掲げている。集会所、小学校が削減の対象になることは考えられない。優先して守るべき施設であり、地域の合意なくして実施すべきではない。こんな時にこそ少人数学級の実現に取り組むとの考え方を示していただきたい。20年間の構想となっているが、現状の課題である人口減少をどう克服するかについてももっとも検討すべきと考える。人口減少をくい止める方法として明石市の例が取り上げられるが、若い世代が暮らしやすい街づくりが求められる。安価な公的住居の提供や保育施設の確保などに取り組むことなどを検討していただきたい。		D	人口減少対策、人口流入等の施策は総合計画及び創生総合戦略において取り組むこととしておりますが、両計画とは密接に関わることから整合を図りながら進めてまいります。「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方をお示しするものです。なお、具体的な検討を進める際には、「ウ 最適化構想の実施方針」に記載のとおり、対象施設の更新時期にあわせて、施設所管課等によるプロジェクトチームを構成し、詳細に検討した上で、関係団体との協議や市民ワークショップ等を通じた市民の皆さまとの話し合いの場を設ける予定です。
	④ この公共施設の最適化構想の前提が、人口の減少を前提にしている、「市民の高齢化が進む中でも、もっと住みよい戸産市をつくるためにどうするか、人口を増やすにはもっとどんな施策が必要か」の視点が全く欠けている。		D	人口減少対策、人口流入等の施策は総合計画及び創生総合戦略において取り組むこととしておりますが、両計画とは密接に関わることから整合を図りながら進めてまいります。
	⑤ アンケート問2で、公共施設は、市民がより安い料金で使えるように、多くの人に使ってもらえるように、と市が考えるのがあたり前です。今の料金が高すぎます。このアンケートでは、市民を、利用する人としないうちに、利用する人がもっと負担するのがあたり前のように思われます。		D	使用料等については、直近では令和2年4月に改定しており、利用する方と利用されない方との負担の公平性を確保する観点から、水準が適正かをたえず検証してまいります。

該当箇所	意見概要	件数	取扱区分	市の考え方
	<p>⑥ 最適化と言いながら、施設の「統廃合」で減らしていくことでしょよと言いたい。 教育の芦屋といって公立幼稚園が各校区にあったのになくなってしまった。国の政策の先どり子育てしにくいふうの街になってしまった。又、集会所を減らして地域の交流の場を減らしていくのか、国の言う通りじゃなく住民の声にこたえる市政であれ、人口が減ったとえなっても、地域の中心の小学校、中学校は減らさないと行ってほしい。</p>		D	<p>本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況です。 「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方をお示しするものです。</p>
	<p>⑦ 公共施設の稼働率を公開して、もっと活用度を上げる運動を進めるべき。 大切な資産を単純に古いからとか、活用率が低いからと統廃合を進めようとするには余りにも無理がある。</p>		D	<p>本市では、各施設の利用状況やコスト等を見える化した「施設カルテ」を毎年ホームページ上で公表しており、貸館等の施設の利用率がご確認いただけます。施設の利用率を上げる取組も行いますが、財政状況や利用実態も勘案し、本構想を進めてまいります。 なお、アンケート調査結果にありますように、公共施設全体の利用は、「利用しない」・「年間に数回」の合計が全体の半数を超えており、市民の公共施設の利用率は、高いとは言えない現状です。そうしたことを踏まえると、1施設の利用率向上のみならず、公共施設を利用する方と利用されない方との負担の公平性を確保する必要があると考えております。</p>
	<p>⑧ 集会所などの公共の建物というものはどういう意味で建てられたものであるのか、という原点に立って考えた時に商業施設などのように良く利用されるとか、集客力が高いとか、市の財政が悪くなった時に売れば助かると言うような考えがもし市の方で持っておられるなら根本的に間違っておられます。芦屋市は世界一の市をめざすと聞いています。今の場所に、後世に残るようなりっぱな集会所に建て替えるというなら、理解出来ませんが廃止して売ってしまうというのはまったく理解出来ません。世界一をめざす芦屋市はさすが志が高いと言う所を見せて下さい。せつかくカンバンなどの表示物を撤去しきれいな芦屋にして行こうと進められているのですから志を高く！</p>		D	<p>全ての公共施設は、何らかの目的があって建設されております。また、民間施設のように収益性がない場合であっても、「住民の福祉を増進する目的」があれば条例で設置し、維持管理には市税や手数料等を充当してまいりました。 しかしながら、本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況です。 また、公共施設の廃止等を行なった場合、その後の方向性には売却も選択肢として含まれますが、様々な手法を検討した上で、市民の皆さまと協議してまいります。</p>
	<p>⑨ 町にひとつの集会所は必要です。</p>		D	<p>本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況であり、新たな施設設置や増築等を行なうことはできません。</p>
	<p>⑩ 市の計画案とてもむつかしくてもっと解りやすくお願いします。</p>		B	<p>「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方をお示しするものです。 本構想の周知やプロジェクト等を進める際には、更に市民の皆さまに分かりやすい資料となるよう努めてまいります。</p>

該当箇所	意見概要	件数	取扱区分	市の考え方
学校園施設とスポーツ施設等の更新時期にあわせて再配置等	山手地区学校施設の再編とあるが、少人数学級化をどう考えているのか。	3	D	将来人口推計に基づき、将来の児童生徒数を推計しておりますが、制度の変化に応じて検討してまいります。
その他		3		
	<p>① 20年後の小・中学校の再配置・統廃合には反対です。 このようなパブリックコメントの形ではなく、今から具体的に、PTA・学校・地域で考え、話し合う場をつくってほしい。朝日ヶ丘町は幼稚園が民間こども園になり、朝日ヶ丘小学校は、地域にとっても大切です。</p>		B	<p>本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況です。 「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方を示するものですが、全てのプロジェクトを直ちに着手するわけではなく、また、具体的な施設の廃止等をお示すものでもありません。 各プロジェクトを具体的に進める際には、「ウ 最適化構想の実施方針」に記載のとおり、対象施設の更新時期にあわせて、施設所管課等によるプロジェクトチームを構成し、詳細に検討した上で、関係団体との協議や市民ワークショップ等を通じた市民の皆さまとの話し合いの場を設ける予定です。</p>
	<p>② 1.基本的な考え方は、故宇沢弘文先生(経済学者)が指摘されているように「すべての子どもが人間らしく健やかに成長していくために教育は非常に重要な役割を果たします。学校教育は儲けを目的にやってはいけないし、国のある理念を子どもに押しつけることがあってはいけない。あるいは1つの宗教的な考え方によって子どもを育ててはいけない。ここで重要なことは、実際に学校を経営し、教育する人たちが教育の専門家としての考え方、理念、規律に基づいて教育していくことです。社会的共通資本としての学校教育は、必ず財政的に赤字を伴うものなのです。膨大な費用をかけて学校を作り、先生を養成し、そして学校を経営していくには、当然収入より支出のほうが多くなります。一般的に言うと、社会的共通資本が果たしている社会的・人間的な役割が大きければ大きいほど赤字も大きいと考えられます」と指摘されています。 2.私は、今回の最適化構想は教育を資本主義的経済世界に組み入れるものと考えます。宇沢先生が指摘された教育は社会的共通の資本であり、私達芦屋市民の共有財産で、必然的に赤字になるものなのです。費用が大きいかかると言う経済合理性で統合を促進してはなりません。赤字になるから統合するのは目先の短絡的手段に過ぎません。以前大阪府が病院の統廃合や看護学校の廃止をおこない、現在のコロナ問題に十分な対応ができないことは、目先の経済合理性に走ったことが、今禍根をのこすことになっているのです。 3.最適化構想は、教育の外側を変えるだけで、教育の中身についての議論がありません。現在の問題である、いじめや不登校はどのように解決するのでしょうか。これこそ子どもたちが望んでいることです。最適化とは、行政の都合だけではなく、市民の都合、子どもたちの都合を熟慮しなければなりません。芦屋市百年の計を鑑み、地域住民レベルで市対話をしていきませんか。 4.学校は子供の教育の場とともに地域住民の話し合いの場でもあるのです。その場は地域づくりの拠点ともなります。地域の学校が統廃合されたら、廃止された地域住民の話し合いの場をどうするのでしょうか。これはお金では解決しない問題です。 5.最適化構想の前には、芦屋市の教育問題の解決を地域住民と粘り強く話し合い、お互いが納得してこそスタートすべきだと私は考えます。</p>		D	<p>行政サービスと同様に公教育も、収益性を追求するものではないと考えております。しかしながら、あらゆる施策には歳出が伴い、それに対応するための歳入が必要であることも留意すべきことであり、施設総量や規模は、更新時期以降の人口や財政状況を踏まえて決定していく必要があります。 本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況です。 「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方を示するものです。なお、教育に関する中期的な考え方や具体的な施策については、現在策定中の第3期芦屋市教育振興基本計画に記載しております。 各プロジェクトを具体的に進める際には、「ウ 最適化構想の実施方針」に記載のとおり、対象施設の更新時期にあわせて、施設所管課等によるプロジェクトチームを構成し、詳細に検討した上で、関係団体との協議や市民ワークショップ等を通じた市民の皆さまとの話し合いの場を設ける予定です。</p>
	<p>③ 学校施設の統廃合 原案は、該当年齢児の縮小からの観点であるが、地域コミュニティの在り方、地域住民が寄り合う場所、災害避難施設等多面的角度で検討すべきであり、人口減少のみを理由とする単純な考えには同意できない。</p>		D	<p>本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況です。 「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方を示するものです。 なお、「ウ 最適化構想の実施方針」に記載のとおり、対象施設の統廃合・複合化を検討するにあたっては、エリアマネジメントの視点や市全体における当該施設の役割が何かという視点を持って、進めるものとします。</p>

該当箇所	意見概要	件数	取扱区分	市の考え方
本庁舎の更新時期にあわせた体育施設等の再配置	<p>「体育館・青少年センターの再配置」とは別の場所に建て替えることか？          青少年が遊び場がなく、体も鍛える場がない現在、また高齢者が健康で長生きするために(健康寿命)各種スポーツ参加が望まれる。現在の精道体育館の利用率は非常に高い。現地に建て替える場合、総面積を拡大する、2カ所設置する場合は、一つは、潮戸屋に防災避難施設を兼務した体育館を設置すべきである。</p>	1	D	<p>「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方をお示しするものです。</p> <p>「本庁舎の更新時期にあわせた体育施設等の再配置」は、具体的な検討を進めておりませんが、「ウ 最適化構想の実施方針」に記載のとおり、対象施設の更新時期にあわせて、施設所管課等によるプロジェクトチームを構成し、詳細に検討した上で、関係団体との協議や市民ワークショップ等を通じた市民の皆さまとの話し合いの場を設ける予定です。</p> <p>なお、本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況であり、新たに体育館等を設置することはできません。</p> <p>今後の公共施設等の更新や管理運営では、PFI・PPPなどの多様な手法を用いることに加え、必ずしも市が所有することを前提としない取組を検討してまいります。</p>
市営住宅等の統廃合	<p>現在の市営住宅は、空き家が多くて、維持管理が大変だから統廃合の方針が出てきているのかと思ったら、全くそんな状況になく、申し込んでも入れない人がかなりいると聞きます。</p> <p>市は、何を考えているのかと怒りがわいてきます。</p> <p>芦屋市は、市民の中に高所得の方もいると聞いており、財力が大きいのは良いことです。しかし、我々のようにやっと安価なマンションの一角に住んでいる人や高齢者が単身になられる方も多く、一人の年金では生活が苦しくなる人も増えることが予想されることから、市営住宅の需要が増すのではないのでしょうか。</p> <p>アンケートを取るなら、「今後、市営住宅にはいりたいと思いますか？」「今後、一人暮らしになったらどうしますか？」などの設問をしてみたらどうでしょうか。</p> <p>こんな市民の要望を募る設問をせずに、「財政削減」の視点だけで施策を決めようとするのは、市民に目を向けない上から目線の誤りです。</p>	1	D	<p>本市の公共施設の類型別の延べ床面積の構成比をみると、一般的な自治体が「学校教育施設」が最も構成比が高い傾向にあることと異なり、「公営住宅」が30.1%と最も高く、次いで「学校教育系施設」が23.0%となっております。これは平成7年の阪神・淡路大震災からの早期復興や被災者の生活支援のため、災害復興公営住宅の建設等を行ない、震災前の1,066戸から1,765戸(高浜町第1番住宅大規模集約事業を経て、現在は1,624戸)に増加したことが起因しております。</p> <p>また、総世帯数に対する市町営住宅等の戸数の割合は、兵庫県全体が3.75%のところ、本市は3.86%となっており、県下で見ると多い部類に入ります。</p> <p>近年、全国的には住宅ストックが量的に充足し、本格的な少子高齢化を迎えるなど社会情勢が著しく変化するとともに、住宅政策の課題が多様化する中で、ストックの長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化を図ることを目的として、平成22年3月に市営住宅等ストック総合活用計画(前期計画)、令和2年3月に同計画(後期計画)を策定し、一部の市営住宅等の統廃合についても検討することとしております。</p> <p>本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることも困難な状況であり、新たに市営住宅等を設置することはできません。行政サービスを継続していくためには、住宅政策についても、ハード中心の施策からソフト施策への転換を図る必要があると考えております。</p>



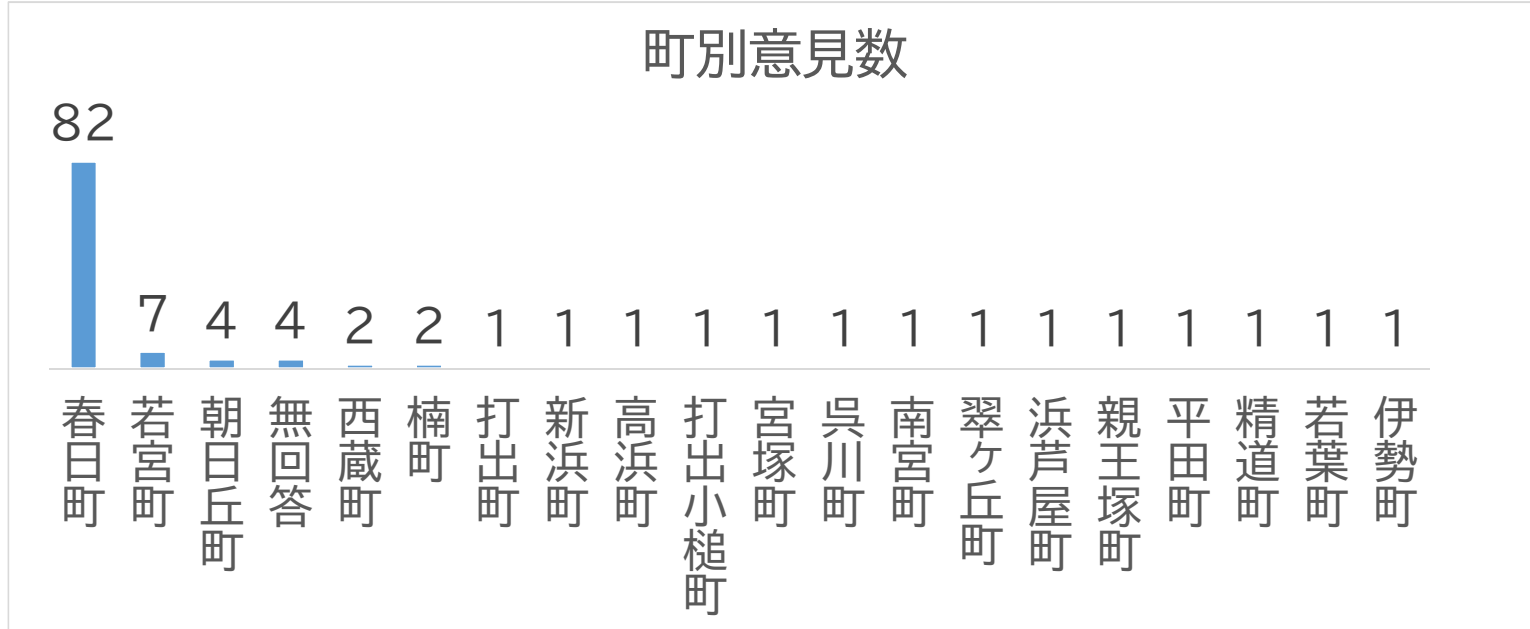
該当箇所	意見概要	件数	取扱区分	市の考え方
打出教育文化センターと春日集会所の更新時期にあわせた再配置及び打出公園との一体的整備	<p>現春日集会所を残すことを希望</p> <p>防災拠点・避難所として必要</p> <p>地域のかたのコミュニケーションの場である</p> <p>移転後、現施設は市民のために使われるのか</p> <p>投票所である</p> <p>存続要望のみ</p> <p>高齢者は集会所が遠くなると利用できない・負担が大きい</p> <p>利用圏域は違う。利用圏域の定義が不明。</p> <p>高齢者の健康づくり・介護予防のため必要</p> <p>打出教育文化センターとは、用途や貸室の利用ルールが違う</p> <p>打出教育文化センターでは集会所機能のキャパシティが足りない</p> <p>住民が区画整理の際に協力した土地である</p> <p>更新不要・最低限の補修でよい</p> <p>現集会所に価値がある(前面道路の幅員が広い、バリアフリー、分かりやすい位置にある)</p> <p>現集会所の増築等を希望(3階建て、春日公園と橋で繋ぐ)</p> <p>利用率を上げればよい</p>	73 45 3 4 5 22 3 11 9 3 7 5 4 2 1		<p>本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係費の増加等により、厳しい財政状況が想定され、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況であり、新たな施設設置や増築等を行なうことはできません。</p> <p>「公共施設の最適化構想」は、将来世代へ負担を持ち越さない施設保有量となるよう公共施設の総量縮減を図るため、今後20年間に更新予定の施設の再配置に係る戦略的な考え方を示すものですが、全てのプロジェクトを直ちに着手するのではなく、また、具体的な施設の廃止等を示すものでもありません。</p> <p>各プロジェクトを具体的に進める際には、「ウ 最適化構想の実施方針」に記載のとおり、対象施設の更新時期にあわせて、施設管理課等によるプロジェクトチームを構成し、詳細に検討した上で、関係団体との協議や市民ワークショップ等を通じ、幅広い世代の様々なご意見を頂きたいと考えています。加えて、プロジェクトに係る費用総額とその後の運営費等が、「芦屋市公共施設等総合管理計画」第2章で試算した各施設に将来必要となる更新費用と運営費等をあわせた総額と比較し、効果額を算出するものとなりますが、「改修費が過大なため取り壊す」といった一要因のみでの判断で進める考えはありません。</p> <p>また、ICTを活用した施設の効率的な管理の導入は、新行財政改革の取組方針の1つである「未来に向けた公共施設等の最適化」の中で「公共施設の最適配置」と共に「官民にとらわれない施設の効率的な運営」の取組として進めるものです。</p> <p>本構想のプロジェクトの1つである「打出教育文化センターと春日集会所の更新にあわせた再配置及び打出公園との一体的整備」(以下「本プロジェクト」という。)は、既に更新時期に到達している施設があるため、本構想の実施方針に沿って、自治会の役員や地元の方の皆さまとの協議を始めているところです。</p> <p>本プロジェクトは、「打出の小道プロジェクト」の中心的取組として、地域全体の価値が向上するよう市民ワークショップや利用者の方の皆さまとの協議を通じて、打出教育文化センター等の施設改修を適切に進めてまいります。</p> <p>また、打出教育文化センターへ集会所機能を移転する際の移転後の具体的な施設利用方法等は、現集会所の利用状況を踏まえながら、利用者や地域の方の皆さまとの市民ワークショップを通じた意見交換を行い、新たなルール等を検討してまいります。</p> <p>なお、前述のとおり本構想は具体的な施設の廃止等を示すものではないため、現春日集会所に関する具体的な回答をすべきでないと考えておりますが、集会所機能が移転された後の避難時の対応等を含む現春日集会所のあり方については、別途、地域の方の皆さまと協議してまいります。</p>
一体的整備に賛成	<p>50年以上春日町に住んでいますが春日集会所は投票の時に行くだけでどのように使用されているのか全く知りませんでした。実際どの位の方がどのように使用しているのでしょうか？今回、春日集会所統廃合に反対する方の声として「卓球ができる」教育文化センターまで投票に行くのは大変、「避難所になっている」等を耳にしました。避難所の件は別途考えなければならぬとして卓球や投票については春日集会所近くにお住まいの方一部の意見だと思えます。春日町の西よりに住んでいる者にとっては打出教育文化センターと猿公園の一体的整備の方に賛成です。</p>	1	D	<p>以降は参考までにお示しします。</p> <p>本市の公共施設に係るライフサイクルコスト(生涯費用)は、築30年で大規模改修、築60年で建替えを想定した試算をしておりますが、各施設の老朽度等を勘案して、実施の時期を判断しております。春日集会所は築38年が経過し、一定の老朽化も見られることから、安全安心にご利用いただくためには修繕や改修工事が必要状態であると見ております。</p> <p>全てのプロジェクトに当てはまることですが、公共施設の再配置を進めると、現施設の役割が別の場所に移るケースが生じ得ます。</p> <p>打出教育文化センターと春日集会所の徒歩の距離は約500m(直線距離は約400m)ですが、打出教育文化センターに機能を移転することで、現在の施設利用者にとっては、近くなる場合と遠くなる場合の両方が想定されます。国土交通省が発行する『都市構造の評価に関するハンドブック』では、一般的な徒歩圏は半径800m、高齢者の一般的な徒歩圏を半径500mとして示されているものの、現集会所のお近くにお住まいの市民の方の皆さまにおかれましてはご不便をおかけするところであり、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。</p> <p>なお、地区集会所では、集会所ごとに自治会をはじめとした地域の各団体の代表者の方で構成される地区集会所運営協議会が組織され、利用ルール等の取決めや日々の運営を担っていただいているところです。各地区集会所は、地区集会所運営協議会に所属する自治会の区域内にお住まいの方の利用が想定されているところですが、市民の方は、お住まいの地域に関わらず、市内全ての地区集会所をご利用いただくことが可能です。</p> <p>春日集会所は、春日地区土地区画整理事業の施行に伴い建設されたものであり、事業に協力いただいた地域の方の皆さまには、この場を借りて改めて御礼申し上げます。</p> <p>全ての公共施設は、何らかの目的があって建設されてきた経緯があり、また、民間施設のように収益性がない場合であっても、「住民の福祉を増進する目的」があれば条例で設置し、維持管理には市税や手数料等を充当してきたところですが、人口減少局面に入り、少子高齢化に伴う社会保障関係費の増加等による将来の厳しい財政状況を想定すると、今後と同様に、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは困難な状況です。</p> <p>春日集会所の利用率は、平成30年度の2.7%から平成31年度の3.2%に上昇しておりますが、アンケート調査結果にありますように、公共施設全体の利用は、「利用しない」・「1年間に数回」の合計が全体の半数を超えており、市民の公共施設の利用率は、高いとは言えない現状です。</p> <p>そうしたことを踏まえると、1施設の利用率向上のみならず、公共施設を利用する方と利用されない方との負担の公平性を確保する必要があると考えております。</p>
その他	<p>① ICTの導入などによる施設管理を進めることはぜひ行って頂きたい。一方で、それだけが現在の打出小艇町、特に春日町に必要なかと言えば異なるのではないかと。いまいちど、魅力ある施設づくりが主ではなく、魅力ある地域づくりのための視点で、集会所の在り方を地域で問う時間は頂けないか。学生～高齢者まで意見を出し合う機会を設けたい。10年後20年後、魅力ある地域だと言いたい。予算のない中でもできることを検討させて頂きたい。</p> <p>② この計画は「ICT導入による効率的な施設管理で各種縮減を図る…」とはなっていますが、「ICT導入」がどうしても必要なら、それは打出教育文化センターに設置すればいいわけで、春日集会所自体を無くしてしまうというのはまた別の話です。有事の際は打出教育文化センターがメインとなり、打出、小艇、春日町を総合管理すればいいのであり、春日集会所を無くさないといえないという理屈にはならないはず。</p> <p>③ 春日集会所の北側には集会所より高い所に春日公園があり便所及び防災倉庫があり公園は大変広く西側部は大きい花壇があるその一角に集会所(2階建)を新築を提案する。</p> <p>④ 春日公園北半分の必要性が感じられない。プレハブでいいから集会所をそちらへ移してはどうか？</p> <p>⑤ 春日集会所の老朽化が進行しており、大規模改修が必要でコストがかかりすぎるため同集会所を取り壊すと芦屋市長は主張していますが、これは全くのウソです。同集会所は鉄筋コンクリート製の堅牢な建物で基本的な部分はほとんどいたんではないです。外壁の仕上げは健全な状態で修理する必要はありません。屋根の防水は更新する必要があるかもしれませんが工事費はせいぜい60～70万円です。構造体はしっかりしているので、修繕する必要はありません。内装を改良するにしても200～300万円ぐらいで、安いものです。200億円を超える無駄遣いであるJR芦屋駅南再開発の費用をひねり出すための、大切な春日集会所の取り壊しに反対します。</p> <p>⑥ 市立幼稚園・保育所の統廃合・民営化問題、学童保育の一部民間委託問題など、市民の合意なく、結論ありきで進めてきたことは、市と市民の信頼をこわしてきたと思います。今からでも市民とよく話し合い、よく意見をきいて進めてほしいと思います。私は春日集会所は地域にとって大切なものだと思います。(今の場所で)</p>	6		

該当箇所	意見概要	件数	取扱区分	市の考え方
その他	※本計画への直接のご意見ではありません。	5		
	① 鳴尾御影線の主要な所に監視カメラ設置希望(防犯)		D	防犯カメラは、通学路を中心に、令和元年度までに152台を設置しており、現在、公共施設の屋外に設置している防犯カメラと合わせると200台を超え、近隣市の状況や、刑法犯罪の認知件数等から、犯罪防止効果が期待できる設置ができたと考えております。 今後は通学路点検等を通じ、効果を確認し、更新の時期等に設置場所の見直し等を行ってまいります。
	② 中核都市等に設置された保健所、感染症対策等地域保険の重要な役割を担ってきたが、94年より約400か所が統合されてきている。最近では芦屋と宝塚の保健所統合の動きがあるようです。このような時に、突然表れた新型コロナ禍騒動で、どのような緊急対応ができるのか疑問です。市設置の保健センターの健康相談、保健指導、検診等だけでは命を守ることができない。保健所は減員から一転増員が求められている。緊急時対応が必要であると考えられます。		D	芦屋健康福祉事務所の移転に関しましては、所管している兵庫県に対し、市民サービスに影響を与えないよう引き続き要望してまいります。
	③ 鳴尾御影線日が暮れたら歩道まっ暗。街灯を車道に向けず、歩道に向けてほしい。避難は昼間とは限らない。		D	春日町の鳴尾御影線につきましては、照度調査を行っており、歩道の照度が著しく不足している箇所はございませんでした。 また、車道の照明を歩道に向けてることにより車両の通行に関して危険な状態となる恐れがございますので、車道を向いている照明について、歩道に向きを変更することは致しません。
	④ どの項目にも入らないと思いますが、広報あしやのタイトルは今まで通り、平仮名・漢字を大きくしてください。アルファベットが大きくて、どこの宣伝チラシかとまちがえます。馴染みません。おでかけカレンダーはグッドアイデアです！		D	ご意見をいただきありがとうございます。 表紙のロゴの記載につきましては、これまでも数回、更新をしてきているところです。 広報あしやでは、2019年の7月にリニューアルを行い、同時に表紙のロゴの記載も変更し、全ページカラー化やお出かけカレンダーを加え、使用する文字を拡大するなど、より多くの市民に手に取って読んでいただきやすいように努めています。ご理解いただきますようお願いいたします。
	⑤ 小学校児童数は、この項目に入るかどうか分かりませんがよろしくお願ひします。 今、政府は全国一律に来年度より順次5年計画で小6まで35人学級実施を決めました。大変喜ばしいことです。そこで、芦屋市でも更に枠を拡げ来年度に小6まで35人学級を実施して下さい。且て教師をしていましたか42人学級と30人学級では教師1人の目配りの時間は多くなり心のゆとりが生まれます。明日も学校へ行こうという児童の生々した行動が生まれます。当面のコロナ対策には不可欠なことです。財源を確保して下さい。		D	ご意見として承ります。 なお、現在、本市では小学校1年生から4年生まで35人学級の編制となっております。 少人数学級については、これまでも兵庫県都市教育長協議会や兵庫県市町村教育委員会連合会等を通じて、国や県に対して要望してきたところです。また、本市単独で先行して実施するには、施設整備や教職員の確保を市独自で行うことは難しいと考えておりますので、今後の国県の動向を注視してまいります。

## 公共施設の最適化構想 パブリックコメント 全意見

### 町別意見数

115人  
233件



通し番号	元の意見
1	<p>○打出教育文化センターと春日集会所の更新時期に合わせた再配置及び打出公園との一体的整備プロジェクトについて</p> <p>1. 老朽化が進むと言われていますが、春日集会所は耐火構造物で築40年足らずであり、阪神淡路大震災に耐え当時地域の避難場所として大いに助かりました。その後雨漏りもなく、更新しなければダメだと到底考えられません。なぜ急ぐのですか？</p> <p>2. 人口は減ってきているとはいえ、戦後生まれの高齢者が増えています。地域の人たちが集まってコミュニケーションを図り、健康な身体を作り、介護予防の施設は使えるだけ利用し、10年以上使用できるのではないのでしょうか？</p> <p>3. 利用可能な部屋数があるとは言いが、利用基準の違いをどうするのか？</p> <p>例1) 休日・夜間の使用可能日数, 申込受付期間            例2) 飲食, 体操, 演奏会等, 大きな声や音, 振動の出るものはダメ            例3) 利用料</p> <p>これでは到底我々がやっている憩いの場としての利用はできません。</p>

通し番号	元の意見
2	<p>公共施設等総合管理計画＝施設の総量削減となるのはどうしてですか。  「打出教育文化センターと春日集会所の更新時期に合わせた再配置及び打出公園との一体化整備」について  両施設の利用圏域が重複しているとありますが、なにをもって重複といえるのでしょうか？別の圏域であると思います。実際に住民にヒアリングされたのでしょうか？  もし、春日集会所が統廃合されたら、打出教育文化センターには行きません。  A施設の総量削減と維持管理費の削減とありますが、最適化計画ではなくただの市民サービスを落とした維持管理費の削減ではありませんか？  B打出公園と教育文化センターとの一体化整備には反対しませんが、なぜ春日町の地域コミュニティーである集会所を取り上げる必要があるのでしょうか？  C春日集会所を廃止したらその後どう市民のために役立つ場所に変えてくれるのでしょうか？</p>
3	<p>春日集会所の統廃合の件、区画整理当方と長年の交渉(市担当者)足繁く  ① 計画終了後は立派ないこの家、公園、道も良くなるとのことで、減歩率10%土地協力しました。近所の皆さんもです。そのおかげで区画整理が完成されたのです。  ② 当方、当時家族6人建て替え時、市の仮設住宅へ約1年移転、往復の宿替は大変でした。また、進学、入学等日々子供たちにも大変苦労させた事も良く考えてください。家内共々想像を絶する苦しい思いをしたものです。  ③ 阪神大震災時には春日、打出、南宮、楠各町の方の避難者で足の踏み場なしの集会所の各部屋、トイレは大変それでも集会所があり、心から大助かり、皆さん感謝でいっぱい。教育センターへ避難は高齢者が増加し約10分以上かかる行動、また道中の災害物で不可能です。  ④ 約8年前より、ミニツグット15人、月2回、老人の楽しみで一室使用させていただいています。記録帳10冊程あります。</p> <p>統廃合反対です。まだまだ使用可能だと思います。安価で修理を。  よくよくお考え下さいますように。乱文申し訳ありません。</p>
4	<p>●まず「最適化」という言葉の定義を聞きたい。この構想で使われている「最適化」とはどういう意味か？このまま手をこまねていけば人口減少社会になるというのは理解できる。いまから効果的な人口増加策をうって  もすぐに反映はできないと思う。しかし、2040年では「最適化」といわれる状態になったとしても、その後直ちに「最適化」とは言えない状況になる可能性だってあるではないか。人口減少が予測でしかないように、私が  言っ  ていることも仮定の話でしかない。そういうものに「最適」などという言葉当てはめてもいいのだろうか？公共施設大幅削減計画のほうが正確ではないか。  ●春日集会所の廃止に反対である。まず手続きが「オープン芦屋」の流儀にかなっていない。廃止後どうするかもスケジュールも決め、幼保統廃合計画と同じである。オープンな形で住民と話し合い、それから決めてい  くというやり方になっていない。主人公は市民である。二つ目に、「安心便利に生活を送れる環境が整っていることは、安定した市民生活の基本」という総合計画原案の精神に反する。地域の人は、春日集会所を拠点  に、まちづ  くりを考え、高齢者が「健康づくり」に取り組んでいる。いまあるものを奪うというやり方が「安心便利」「安定した市民生活」を脅かす。  ●20年後には山手3小学校体制を見直すとするが、今後急速に進むであろう(子どもたちの育ちを考えても国際的にみても)20人程度の少人数学級化との兼ね合いはどのように考えておられるのか示されたい。十分  に対応できるほど生徒数が減少するという見通しなら、その数字を明らかに示されたい。三条小学校を廃校にした教訓は何だったのか明らかにされたい。</p>



通し番号	元の意見
5	<p>春日集会場の必要性を再確認して頂き、継続して利用できるように修繕を希望します。</p> <p>春日町の避難場所、避難所としての機能を再確認して頂き、防災グッズなどの設置、阪神淡路大震災発生時に、春日公園の仮設住宅状況や救援物資の配布状況を芦屋市としてあらためて確認して頂き、南海トラフ大地震に向けた準備をして頂きたい。</p> <p>春日町は、高齢者が災害時に打出浜小学校まで水や物資を取りに行く事が困難である。</p> <p>津波発生時、川の氾濫などによる水害時に阪神電車の北側にある戸建は水没が予測されるが、膝上までの水流の中、水流に逆らって打出小槌町まで避難出来ない。</p> <p>打出小槌町の公園を整備する予算があるなら、春日集会所を非難しやすい3階建の施設にリニューアルした方が良い。その場合3階から北側にある春日公園に出る通路を設置し災害時に使いやすく工夫してほしい。</p> <p>市役所の勝手な判断で市民が提供した公園や集会所敷地を使うなら、市民に返還して頂きたい。(一担当者が勝手な判断でこの話を市民に持ってくるなんて信じられない)</p> <p>もしこのまま統廃合で春日集会所を廃止するなら市長が春日集会所にきて市民の話聞いてください。そして市の防災についてどう考えるのか？をメディアにリリースして市民に伝えてください。お願いします。</p>
6	<p>春日集会所の統廃合計画には反対します。</p> <p>理由</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. まず家より近いからです。高齢になり、車、自転車にも乗れなくなると歩いてすぐ行けることが一番です。</li> <li>2. 今、コロナの時、色々建設したりする事は、なざる人も、私達もきげんですし、日本は地震国でもあり、いつ南海トラフ地震が来るか、大阪、阪神間も大変ですよ！！</li> </ol>
7	<p>今まで余り、気にせず居ましたが、自分に関するものと受け止めることに接しています。春日集会所は、地元住民が土地を出し合ってきたものと知りとんでもないこと！！と心外です。</p> <p>集会所を閉鎖して、その場をどうされる予定でしょうか？春日町の住民の高齢化は著しく、今後予想される自然災害の避難所を使えなくなるのは論外なことです。</p> <p>芦屋市役所に用で行くと、職員の多さに驚きますし、仕事のされなさにも驚くばかりです。人件費のことから考えていただかないと、住民にばかり不合理なことは受け入れられません。</p>
8	<p>春日町には、40数年間住んでいます。その間に春日集会所では3B体操や歌う会などにいろいろと参加してきました。3年前に麻雀台を購入してもらってからは、友人達と健康麻雀を楽しんでいます。我々高齢者にとって、麻雀は頭と手を使い、友人と会話しながらできる楽しいゲームなのです。認知症対策にも大いに役立っていると思います。</p> <p>いろいろな住民の活動の拠点であり、災害時の避難所でもある春日集会所をなくすことには反対します。</p>
9	<p>統合する事が悪いとは思わない。ただ集会所を作った意味を考えて貰いたい。避難所と利用するならば高齢者に車椅子利用者には打出の坂はきついし遠すぎる。選挙などでも遠い。駅に行く必要がないときわざわざ打出まで行かない時もある。建て替えなら分かるが統合はあり得ない。もっと他に目をむけるべき。何のために地域の集会所を作ったのか利用率をあげるなら対策を講じるまで。春日の集会所は平坦な道でバリアフリーで利用価値がある。環境もいい。</p>

通し番号	元の意見
10	<p>このプロジェクトは、「春日集会所を閉鎖し、打出教育文化センターに統合する」プロジェクトであると読み取れますが、プロジェクト原案の表現では、施設の用途を考える時に防災面からの用途を考慮されていないのではないかと危惧します。</p> <p>現在、春日集会所は市の指定する避難所になっており、災害時には、主に近隣の春日町、打出町の住民が避難されます。一般の風水害等発生時には、周辺の市の施設(小槌幼稚園、宮川小学校、精道中学校、上宮川文化センター)にも避難所が開設されるので、春日集会所に避難者が大勢集中することはあまりないかもしれません。</p> <p>しかし、津波を伴う大地震の発生時には、低標高地帯にある宮川小学校、精道中学校では避難所が開設されないため、その他の災害の際には来られない周辺の町(打出小槌町、若宮町、大東町、南宮町、浜町、西蔵町等)の住民も避難所の開設されている小槌幼稚園と春日集会所の2か所に避難して来られます。特に、春日町、打出町、南宮町、大東町の住民は距離の近い、それほど広くない春日集会所に殺到することが予想されます。防災訓練等では、津波の時はまず垂直避難(一時避難施設)、時間があれば高い方(山手、北の方、鳴尾御影線より北)に逃げるよう指導されていますので、春日集会所の南側に位置する打出町、南宮町、大東町の住民は春日集会所を目指して逃げてきます。</p> <p>その時、そこに春日集会所(避難所)がなかったら、避難者は狭い小槌幼稚園に殺到して、大混乱に陥ることが予想されます。</p> <p>上記のような理由から、春日集会所は存続が必須と考えます。さらに、災害時に大勢を収容できるよう、高層化(3階建て以上)を考慮していただきたいと思います。</p> <p>また、打出教育文化センターは現在、避難所には指定されていませんが、隣の小槌幼稚園が避難所に指定されています。この場所は周辺でもかなり標高が高く、津波発生時の避難所としては最適な場所です。しかし、小槌幼稚園は狭く、打出小槌町の住民だけでも、必要な人数は入りきらないと思われます。センターを立て直すのであれば、こちらも避難所として使用できるよう、建物の規模を大きくしていただけたらと思います。「打出公園との一体整備」とありますが、小槌幼稚園南側にある池には自然が多く残っており、幼稚園児の遊びや情操教育に非常に役立っているのです、なくしてしまうことがないよう、こちらもよろしく願います。</p>
11	<p>春日集会所がなくなることは絶対反対です。 存続させて欲しいです。</p>
12	<p>春日集会所がなくなることは絶対反対です。 存続させて欲しいです。</p>
13	<p>春日集会所の存続をお願いします。</p>
14	<p>災害時に避難所としての春日集会所がないと困りますし、統廃合されますと災害時に高齢者にとっては移動も遠くに感じてしまうと思います。又、私は体力維持の為に春日集会所で定期的に健康体操に通っています。春日町の交流の場としての集会所がなくなるのは反対です。</p>
15	<p>高齢者が出来るだけ自分の足で生活できるよう頑張って健康体操を実施しています。 そんな場所、春日集会所ですので引き続き活動ができるよう存続させて下さい。</p>
16	<p>大規模災害時に親しんでいる春日集会所を拠点としてほしい</p>

通し番号	元の意見
17	大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困る
18	<p>統廃後の春日集会所の跡地はどの様に使われるのですか？(市が売却し、市の財政予算に組み込む計画では?)利用圏域が重複効率的な管理縮減を図るのは行政側の考えであって住民に対して少しの配慮もないと思います。</p> <p>災害時の多い昨今、避難所の集会所をなくすと言うのはどういう考えなのでしょう。(コロナ渦で密を避ける今、一か所集中だと今後何がおこるかわからない)又、コミュニティ活動の拠点としてさまざまな行事等で利用されていますが、今後どの様な対処をされるのか。住民が納得する解答をお願い致します。</p> <p>住民活動の向上を目的とする集会所を廃止する事は反対、反対！断行！！反対</p>
19	<p>春日集会所の存続について、春日集会所は地域の避難所でありかつ憩いの場です。周辺の市民の学びの場でもあります。私は後期高齢者です。こちらで楽しく運動し、又学び仲間と触れ合える生きがいの場でもあります。私のみならずこの地域の市民は春日集会所に大いなる恩恵を受けております。高齢者の大事な集まりの場を存続するよう強く要望します。</p> <p>勿論将来のことも視野に入れる事も大事です。でも今この時世です。今の心も大事です。春日集会所の存続を強く願います。</p>
20	<p>阪神淡路大震災時には春日集会所を避難所として使用し、又、裏側(北)にある春日公園に男女の風呂を設置して頂き非常に助かりました</p> <p>平時は色々な催事(卓球、歌の会等)を定期的に行っております。</p> <p>地域のための春日集会所がないと困る。</p>
21	<p>春日集会所の統廃合計画に反対します</p> <p>阪神淡路大震災経験者として、春日集会所の役割はとても重要でした。</p> <p>これから南海トラフ地震をはじめ各災害の避難所としての重要な役割である春日集会所をなくす事は受け入れられません。</p> <p>地域住民のコミュニティの活動の場として色々なグループが活発に活動しています。</p> <p>統合されることにより次の施設でこれら全てが受け入れられると思われません。</p> <p>震災を経験した芦屋市では避難所として地域コミュニティの核として集会所は増やすことがあっても減少は考えられません。</p>
22	<p>公共施設の最適化構想と言いながら、春日集会所と打出教育文化センターとの統廃合が示されている。公共施設の統廃合は地元の合意無くすすめてはならない。春日集会所はコミュニティの拠点として地市民が守り育ててきた財産である。それを奪うことは全く容認できない。</p>

通し番号	元の意見
23	<p>本構想の実施に向けては、当該地域に調査の目的を明確に伝えて広く意見を収集し、調査結果を十分に分析した上で計画を立案すべき。健全なプロセスを経ず、アンケート集計だけで結論づけてはならない。既に実施された市民意識調査も調査という名のアンケートにすぎず、内容も恣意的な設問に終始し回答を誘導しており、調査を実施したというエビデンスにも成り得ない。</p> <p>「打出の小道」の内容は、一般的な与件と予算額の誇張しか述べられておらず、この程度の資料で事業が推進されている事は理解を得られない。</p> <p>春日町民にとって“より魅力的な施設”とはどんな物と考えているのか、将来性も含めて具体的な案を提示して判断を求めるべき。</p> <p>教育文化センターと共用する施設となれば、十分なキャパシティが備わるのか？町民の利用に不利益が及ばないか？</p> <p>以下、小生が現状危惧している点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春日集会所は春日公園に隣接しており、春日公園で数十年に渡って毎年行われている町内行事の構造も集会所と連動するかたちで実施している。</li> <li>町内会の運営は次世代への役員・幹事の育成や引き継ぎに難渋しており、恒例であるからこそ継続できている行事も、現状の高齢の役員・幹事では公園だけの形態を模索・構築することは困難を極め行事の実施も縮小・廃止が余儀無くなり、町民の交流は今よりも衰退してコミュニティの弱体化が早まる。</li> <li>・春日町民の町内での活動傾向は主に稲荷山線より東で、稲荷山線より西へは、そこに居住する者・図書館打出分室を利用する者・小槌幼稚園に通園する者で、教育文化センターへ行くことになれば利用は減少し、高齢者や乳幼児を持つ保護者、身体障害者他運動能力の低い者の負荷の増大、現状享受している利益の損失となる。</li> </ul>



通し番号	元の意見
24	<p>「公共施設の最適化構想(原案)」1章最適化構想の策定方針(3)各プロジェクトの概要ア打出教育文化センターと春日集会所の更新時期にあわせた再配置及び打出公園との一体的整備に対する意見</p> <p>@利用圏域の考え方について 「利用圏域」が重複しているとあるが、図書館とその他の公共施設(打出教育文化センター及び春日集会所)の利用圏域の考え方はその施設が持つ特性が異なるため、異なると考えるが、打出教育文化センター・春日集会所の利用圏域の考え方を示して頂きたい。 稲荷山線以東の春日町住民にとっての徒歩での基本的な生活圏域は、ダイエー東芦屋店とウェルシア芦屋春日店がある故、稲荷山線以東の春日町内で収まる。打出教育文化センターへの親和性はないため、地域の拠点として整備したとしても、その利用の促進を促すためには、相当の仕組み・工夫が必要となる。現在検討されているそのための案を示して頂きたい。</p> <p>A地域の文化継承行事・コミュニティ活動の継続のために必要な春日集会所について春日町には、防災訓練を兼ねた春の花見の会と、お盆に行われる盆踊りなどといった長く続いている文化活動がある。これは、春日集会所と春日公園を一体化させて利用している特筆すべき活動であり、よそ者として20年ほど前に芦屋市に来た私にとって、春日町の住民として地域に馴染ませて頂いた地域活動である。春日公園・春日集会所は、地域の資産であり、地域の交流の希薄化を防いできた。この機能を継続するためには、春日公園と一体化利用がスムーズにできる春日集会所が必要であると考えている。この点についての意見を伺いたい。</p> <p>B安全・安心に生活できるまちづくりに関する視点 その1 現在、春日集会所は地域の避難場所の一つになっている。我が家でも、小学校の届出に毎年記載させて頂いている。超高齢化が進む春日町のほぼ中心にある春日集会所は、阪神大震災の際にも大勢の方が避難・利用したとお聞きするように、春日集会所は、避難所としての機能やその利用圏域から、地域住民が安全・安心に生活できるまちを醸成している。 今回の統合により、春日集会所が廃止ということになると、平成27年時点の老年人口が30%を超え、現在では超高齢化とも言える春日町において、「安全・安心に生活できるまち」とは言い難い。国土交通省「全国年交通特性調査(平成27年)」によると、高齢者の歩行可能距離は、「無理なく休まずに歩ける距離が100mまでとする人が高齢者の1割、75歳以上は2割弱」である。平成27年の老年人口が30%を超えており、現在ではそれがさらに進んでいる状態である状況を踏まえると、200mを超える距離を避難のために移動することの困難さは想像に難い。少なくともあと10年はこのような状況であることを考えると、この2-3年でこのプロジェクトを実施した後、非常時が生じた際、避難に困窮する事態が生じるのではないかと。予算削減のためのプロジェクトと理解できるが時期や方法については人災とならぬよう再検討すべきと考える。</p> <p>C安全・安心に生活できるまちづくりに関する視点 その2 非常時の際の地域拠点に必要な特性として、物資輸送など迅速に対応ができる必要がある。その点において、春日集会所は前面道路の幅員もあり、建物入口だけではなく、南面を開放可能・バリアフリーなどの機能性の高い施設である。その意味においては、春日集会所を残す利点は多いと考える。</p> <p>D魅力ある地域づくりのために 「最適化構想の策定方針として、更新時期・規模・場所・用途・利用実態などから統廃合などの再配置を検討する」とあるが、社会の情勢やニーズが変わってきている中で、最適化構想は、運営の仕組み・システム・利用方法をイメージし、利用者が納得した上での構想が必要なのではないか。ICTの導入などによる施設管理を進めることはぜひ行って頂きたい。一方で、それだけが現在の打出小槌町、特に春日町に必要なのかと言えば異なるのではないかと。いまいちど、魅力ある施設づくりが主ではなく、魅力ある地域づくりのための視点で、集会所の在り方を地域で問う時間は頂けないか。学生～高齢者まで意見を出し合う機会を設けたい。10年後20年後、魅力ある地域だと言いたい。予算のない中でもできることを検討させて頂きたい。</p>
25	<p>春日集会所の統廃合計画に反対します。 ◎春日集会所は地域の住民のコミュニティ活動に利用され、心身ともに健康で明るく楽しい生活の一部となっています。 ◎春日集会所は芦屋市が指定している避難所で防災拠点として多くの市民が利用しています。(1995.1.17阪神淡路大震災は脳裏からはなれません。語りつくせません)私達地域住民はこの計画に強く反対します。</p>

通し番号	元の意見
26	<p>国が予想している南海トラフ地震がもし発生すれば阪神大震災では重要な場所に設置されていた避難所も無くなって、春日・打出の近隣地域住民や高齢者の負担が大きくなる。打出教育文化センターへの統合移転は反対です。前回の教訓を無にするではないか。</p>
27	<p>春日集会所と打出教育文化センターとの統廃合計画が発表されましたが、春日集会所は災害時の避難所に指定されており、現に多くの市民が多様な種目にわたって利用して市民の唯一のふれあいの場となっている施設であり、この計画を受け入れることはできません。この市民の身を切るような計画には強く反対します。 「改革は、市民の健全な生活の維持を第一義的に基本に考えていくべきもので、市民の犠牲を強いるの改悪です。」</p>
28	<p>大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困ります</p>
29	<p>春日集会所の統廃合について ①厳しい財政状況が想定されるなかで、春日集会所の大規模改修は貸室、収納などの設計変更の伴うような大きな金額になるようなものは必要ないと考えます。防水工事など必要最低限の補修で現状の集会所のまま利用していくことを希望します。 本当に大規模改修が必要なのでしょうか？ 本当に必要な個所での内容での見積もり、今後の試算をしてください。 ②公共施設の最適化・更新時期、規模、用途、利用実態を勘案・とあります。 貸室という共通項はあるとしても過敏な特徴を持つ子供や不登校の子供たちの場でもある「教育」と麻雀、カラオケなどを含む「地域のコミュニティの場」を一つの建物に集約できるとは思えません。 また春日集会所では建物の構造上、他集会所では利用が難しい管弦楽団を含む大きな音を伴う楽器を使った団体も多数定期利用しています。 これまで地域コミュニティの場として、また阪神大震災の例にあるように有事には春日公園と一体としての避難所として40年近く慣れ親しんだ場を地域の方々の考えや理解深め、すり合わせて進めていく等の内容が盛り込まれず勘案されていないことに大きな疑問を感じています。</p>

通し番号	元の意見
30	<p>40年近く地域に密着している春日集会所を存続させて欲しいです。自治体、老人会で高齢者のつどい、講習会、誕生日会、男性コーラス、芦屋市永道、落語会等集会所で参加させていただいて近くで楽しい行事をとっても嬉しく思っています。老いて来ますと近くで集会所があるという事はとっても願って居ます。</p>
31	<p>先祖の遺産を護ろう 春日集会所を次の世代に昭和50年の区画整理の時、減歩法で提供された土地に建つ春日集会所が、統廃合という無常の言葉で消えようとしています。26年前の悲惨震災の時も安心して避難所として迎えて戴きました。先祖の遺した象徴を次の世代に残すのは恩恵を受けた私たちのつとめ、義務で有ると思います。</p>
32	<p>春日集会所が打出教育文化センターと統廃合する計画は一方的に決めないでください。春日集会所は避難所、防災倉庫、公園、春にはさくら祭り、炊き出し、夏には盆踊りなど地域の皆さまや高齢者の皆さまに楽しみにされています。 又、選挙の投票所になっています。高齢者が住みなれた春日町春日集会所の統廃合はおこなわずそのまま存続させて下さい。</p>
33	<p>春日集会所統廃合計画に反対します ①春日住民による「より快適な春日地区」への善意の寄贈による春日集会所。地域の財産でもある。その集会所の存続を望みますので反対です。 ②有事の時の災害物資配給拠点としての存続を望みますので反対です。 ③打出教育センター改築の折には和室がなくなり土足部屋ばかりになるので着付、ピラティスやヨガ等の床上活動がしにくくなるので反対です。 ④春日公園には、洋式便座がないので膝の悪い方や高齢者の方々の利用ができなくなるので反対です(春日集会所トイレを利用されています) ⑤高齢者のイベント等の参加が減少し、自宅にこもりがちになり痴呆やねたつきりになり結果的に芦屋財政が悪化するので反対です。 ⑥身近な拠点だから住民イベント参加等により地域が強くて太くなる「住み易さレベル」が下がるので反対です</p>
34	<p>①新しく統合される打出教育文化センターでは、災害時に小槌町、春日町、打出町の住民の受入れが不可能だと思います。 ②現在集会所では卓球(2台設置)ヨガ、コーラス等低価格で受講されて楽しまれています。福祉面ではお花見の弁当、冬にはおぜんざいの提供もありお年寄りとのコミュニティのがされています。この利用状況から新しいスペースの狭い教育センターへ行く必要はないと思います。 ③「教育面」の場所へ「楽しむ」集会所が合致することは不可能です。メリットありません。打出教育文化センターは福祉センターを利用する方法も検討すべき。 ④新しい設備(リフォーム時)はコロナ渦を体験している今換気の機能を充実するべきです</p>

通し番号	元の意見
35	大規模災害時の春日集会所がないと困る
36	大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困る
37	避難所になっている春日集会所がなくなると困る
38	大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困る
39	大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困る
40	春日集会所がなくなるのは大変こまります
41	春日集会所がなくなるのは防災の避難所ですので困ります
42	災害時に避難所の春日集会所がないと本当に困ります。存続させてください。
43	大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困る
44	地域に密着していて、大規模災害時に避難所になっていて重要な役割となっている春日集会所がなくなるのは絶対反対です
45	大規模災害時に自宅に最も近い避難所である春日集会所がなくなると不安であり困ります



通し番号	元の意見
46	大規模災害時に自宅に最も近い避難所である春日集会所がなくなると不安であり困ります
47	大規模災害時に避難所の春日集会所がないとこまります
48	大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困る
49	大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困ります
50	<p>【打出教育文化センターと春日集会所の老朽化による一体的整備について。】</p> <p>計画内容には「利用圏域が重複しており…」と書かれていますが、近隣住民の様々な生活形態および世帯数等、また、冠婚葬祭、選挙投票や大規模災害時の際の利用を考えると決して重複などしていないのです。実際、現状の二箇所でも大規模災害時に打出および春日町の全住民を収容できるはずもなく、それが一箇所に減るとしたらなおさらです。</p> <p>この計画は「ICT導入による効率的な施設管理で各種縮減を図る…」とはなっていますが、「ICT導入」がどうしても必要なら、それは打出教育文化センターに設置すればいいわけで、春日集会所自体を無くしてしまうというのはまた別の話です。有事の際は打出教育文化センターがメインとなり、打出、小槌、春日町を総合管理すればいいのであり、春日集会所を無くさないという理屈にはならないはず。</p> <p>すでに40年近く地域に密着し溶け込み、多くの春日周辺住民が必要だと感じている公共施設を無くして「管理や各種の縮減を図る」「隣接公園の一体的整備により、魅力ある施設へのリニューアル…」というのは、役所の業務や効率のみを第一優先にした役所の為の都合のいい勝手な言い訳でしかなく、春日町住民の実際の生活や災害時のことは全く考えられていない「心無い計画」で、単に体の良い言い訳にしかありません。</p> <p>数字上は単に数百メートルでも、それにより行けなくなる方が出てくるのです。公共施設というのは、第一にも第二にも「その周辺で生活する市民のもの」であり、役人の単なる出張所でも役人のモノではないのです。春日集会所がなくなれば選挙投票に行く人数だけでも大幅に減るでしょうし、打出教育文化センターまでは行けず途方に暮れる高齢者や体の不自由な人も出てくるのではないのでしょうか？</p> <p>春日住民の為の公共施設である春日集会所は、普段使用されない時は常時閉鎖されていたとしても、いざ必要な際には周辺住民にとって大変重要な施設であり、必要な時には「春日住民が使用できる空箱施設」という事でいいのです。春日集会所を維持する為に出てくる経費や手間などの「一見無駄」だと思われる経費や手間も、実はとっても「必要な無駄」であり、周辺住民の暮らしを第一に考えれば「必要な無駄」なのです。</p> <p>「ICT導入」といった最新のシステムはなくて構わない、老朽化により地震で倒壊してしまうような事はないように最低限の整備の「空箱状態」でいいので、「周辺住民の為の場所」「災時に避難できる場所」として、ぜひ残していただけるよう切に願います。</p> <p>そのように考えますので、春日集会所の統廃合計画には反対いたします。</p>
51	<p>・春日集会所統合のお話をうかがいました。</p> <p>近くのお年寄りの方達は避難所として地震の時には集会所で生活をしていらっしゃいました。(春日集会所です)</p> <p>コミュニケーションのとれる処であり、本当に大切な場所を先の事を考えてと予算の事を言われますが、安易な結論を出して欲しくありません。</p> <p>最後まで自分の力で生活したいと多くの方が望んでいます。どうぞ大切な場所を残して下さい。(建物には人が集えるところであると思っています。)</p> <p>・市の計画案とてもむづかしくてもっと解りやすくお願いします。</p>

通し番号	元の意見
52	<p>家族を含め春日集会所を利用しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの住民集會に利用</li> <li>・子供の趣味(太極拳の練習)に利用</li> <li>・春日町の春・秋の祭り時に利用</li> </ul> <p>春日町住民の憩いの場所を無くさないでください。お願いします。</p>
53	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設の最適化とは何か <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 市民サービスの充実?</li> <li>(イ) 健全な社会のふれあいの場の提供?</li> <li>(ウ) 必要経費の削減?</li> </ul> </li> <li>② 春日集会所の廃止・統合は市民の為? <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 長年親しんできた市民に対するサービス低下ではないか</li> <li>(イ) 二元管理の文化センターでははたして楽しく快適に使用できるか。管理を集会所運営協議会にするのか。現在教育委員会管理で有効に使用できているとは思えないが?</li> </ul> </li> <li>③ 公共施設は全てPFI方式に見直してはいかが?(管理人件費の削減。文化センター含む)</li> </ul>
54	<p>長らく地域に密着している春日集会所の存続を望む</p>
55	<p>春日町は高齢者が多く、いろんな集い、災害時の避難所としての役割は多大です。遠くなるのは、精神的、肉体的に大きな負担となります。</p>

通し番号	元の意見
56	<p>若宮町自治会は地震が発生し、震度が5以上であれば、宮小に。又、東南海トラフ地震による津波が発生したおそれがある場合は、小槌幼稚園、打出天神社、春日集会所に避難する様に常々指導している。東南海トラフ地震による津波が発生し芦屋市に津波が到達し被害大となれば臨湾線と国道43号線の間の各町は水没が予想され、打出浜小学区、宮川学区の住民の多数が、小槌幼稚園、神社、春日集会所に避難すると思われる。そもそも県道鳴尾御影線や春日集会所が建設する時に近隣の皆様に芦屋市が減歩をお願いしたと聞いたと思われる。</p> <p>春日集会所は利用者が非常に便利で場所がわかり易く道路が平坦で坂が少なくお年寄りが利用しやすい。昨年12月の第1回説明会が行なわれ統廃合計画の話し合いで整備検討内容が示されていたが施設の保全改修とあるが公園の公衆便所がなくなり教育文化センター内の便所と共同になる事になっている案が示されていたが文化センターが閉館すれば公園利用者が使用する事が出来ないで公園内の便所は子供達の為に残すべきである。統廃合計画の整備検討内容が現在使用している教育文化センターの既存の建物を利用するだけで(プロジェクトイメージ)がわかりづらい。教育文化センターの外側の石垣外壁を改修を行ない閉館の時間はトビラを閉める事になるのか。</p> <p>春日集会所の北側には集会所より高い所に春日公園があり便所及び防災倉庫があり公園は大変広く西側部は大きい花壇があるその一角に集会所(2階建)を新築を提案する。</p>
57	<p>統廃合計画反対します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時近隣避難場所(春日町の大体中央部にある)で対応が遅れる</li> <li>・移転で集会所利用の意欲が欠如及び愛情の喪失</li> <li>・反対意見</li> </ul> <p>新築を現場所で箱型の簡易な建物を構築、公園と2階に陸橋を設け避難をスムーズにする。 内装も費用はあまり必要ナシと思われるので寛大な処置を希望します。 鳴尾御影線の主要な所に監視カメラ設置希望(防犯)</p>
58	<p>春日集会所の老朽化が進行しており、大規模改修が必要でコストがかかりすぎるため同集会所を取り壊すと芦屋市長は主張していますが、これは全くのウソです。同集会所は鉄筋コンクリート製の堅牢な建物で基本的な部分はほとんどいたんでいません。外壁の仕上げは健全な状態で修理する必要はありません。屋根の防水は更新する必要があるかもしれませんが工事費はせいぜい60～70万円です。構造体はしっかりしているので、修繕する必要はありません。内装を改良するにしても200～300万円ぐらいで、安いものです。200億円を超える無駄遣いであるJR芦屋駅南再開発の費用をひねり出すための、大切な春日集会所の取り壊しに反対します。</p>
59	<p>避難所が遠くなると足腰が悪いので困ります。春日集会所がなくなる事は絶対反対です。</p>
60	<p>南海トラフが起こると仮定の中で高齢のための春日集会所がなくなると打出天神近くまでとていけない。(足がない) 春日集会所だと歩いて5分。打出天神までは20～30分程かかる。</p>

通し番号	元の意見
61	<p>私は統廃合計画に反対です。</p> <p>④私は阪神大震災時、春日集会所に避難した者だが、当時避難者が多く集会所に入り切れず、昼間は春日公園でしのいだ。夜だけ集会所内で、足をのばす空間がなく正座をし、肩を寄せ合って過ごした。今後教育センターと統合されれば、①教育センター内で、打出地区、春日地区の両方の住民の避難所として活用できるスペースはあるのか？②春日公園を避難所と一体化活用できないのではないか？春日公園を利用しない事は税金のムダ使いだと思う。</p> <p>⑥打出教育センターは教育施設であり、集会所は集いの施設で目的が違うのではないかと。集会所でこれまで活動していた麻雀、カラオケ、卓球、楽器練習等継続できないのではないかと。地域住民の楽しみを奪っているのか？考慮して欲しい！！</p>
62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日町はだんだん高齢者が多くなり、大規模災害の時、いつもある避難所の春日集会所がないとたいへん困ります。</li> <li>・コミュニティ活動等、自治会、福祉の活動等、利用している春日集会所が移転することは大反対です。</li> </ul>
63	<p>災害時に避難所の春日集会所がないと困ります。</p>
64	<p>南海トラフ地震が発生する確率が高いと予想されている中で避難所になっている。過去長年利用している春日集会所は存続させて欲しいと思います。</p>
65	<p>①南海トラフ地震が発生する確率が高いと予想されている中で避難所になっている春日集会所がなくなる事は反対です。</p> <p>②高齢者のコミュニティ活動(音楽教室、体操クラブ、卓球クラブ等々)は高齢者の親睦の場、楽しみの場で、かけがえのない場所です。会場が変更になれば、会場に合う様作り変えられるでしょう。それは、年寄りの楽しみをうばう事になり、役員の方々が作り上げた活動を無にする事になり誠に残念です。春日集会所の存続願います。</p>
66	<p>春日集会所廃止の件は反対です。</p> <p>近所の打出教育センターは、不登校の子供たちも利用して教育をしている場であり、そこに集会所で利用しているような趣味の活動で、老若男女、いろんな人が出入りして活動することは場所的にふさわしくなく、子供達も落ちついて過ごせるわけではないと思います。</p>



通し番号	元の意見
67	<p>予想より災害が大きく、頻度も多くなる状況の中で避難所を閉鎖するという発想が考えられません。予算が苦しくとも増設してゆくのが市民の命を守る市の仕事ではないですか。</p>
68	<p>阪神大震災のときに、自分の家も実家も全壊で建て替えが必要なマンションでした。自分の家は命があったのが不思議なくらいに壊れ、割れ目から何とか脱出して、しばらくしてから漏電の火が燃え移り焼失しました。子どもも小さく避難所に行こうと思いましたが、春日集会所も、小槌幼稚園も既にたくさんの人でいっぱい、諦めて実家の掘りごたつの中で余震に耐えました。なので避難所を増やすことはあっても減らすことは反対です。 又、春日集会所では大病をしたあと体力がなくなり身体が動かなくなったときに体操のような教室に通わせてもらい何とか普通の生活ができるようになりました。高齢化する中、そんな場は無くしてはいけないと思います。</p>
69	<p>春日集会所は阪神淡路大震災の時に避難所になりました。僕の家は半壊で何とか修理しながら住みましたが今度南海トラフ大地震が来たら、たぶん即死か生きていても家に住める状態ではないと思う。春日集会所があれば歩いて行けますが、春日集会所がなくなり、打出教育文化センターに移れば母を連れて歩いて行けるかどうか、たとえ行けたとしてもコロナの関係で満員になれば断られる事もあります。春日集会所を廃止する事は絶対反対。</p>
70	<p>春日集会所がなくなると選挙にも地震の時や避難にも行けません。ぜひ春日集会所を存続させて下さい。私は96才です。</p>
71	<p>私は春日町で民生児童委員をしています。 P19新行財政改革の取り組み項目に打出教育文化センターと春日集会所の更新時期にあわせた統廃合計画に反対します。 春日集会所は地域の災害時の避難場所でありかつ私達民生委員の福祉活動の場所で特に高齢者にとって身近な憩いの場所です。春日町も他の地域と変わらず、高齢化がすすみ、災害がおきた場合避難場所が変わり少し離れただけで(たかが5～6分の違いと言うが)高齢者にとって大きな負担となります。 諸事情を考慮して頂き春日集会所と文化センターの統廃合は行わず存続させて頂きたいと思います。</p>
72	<p>避難所になっている春日集会所がなくなることは絶対に反対です。 40年近く地域に密着している春日集会所を存続させて欲しい。大規模災害時に避難所の春日集会所がないと困る。</p>

通し番号	元の意見
73	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日集会所と打出教育文化センターとの統廃合に反対します！！</li> <li>・春日集会所は避難所でもあります。今後起こりうる災害に対しての避難場所は強化していくべきなのに、なくなるというのはどうしてでしょうか？！</li> <li>・春日集会所は地域コミュニティの拠点として様々な活動されておられる場です。教育文化センターではできない活動がたくさんあります。どの様に統合し、活動が続けられるのでしょうか？！</li> </ul>
74	<p>春日集会所の統廃合計画について、地方自治体の任務として住民の命を守ることは最も重要なことのはずである。同集会所は阪神淡路大震災のとき、どれほど住民の避難所として大きな役割を果たしたか。国が30年以内に南海トラフ地震が発生すると警告しているとき、この重要な避難の場所を統合によってなくすという発想そのものが私には考え難いことである。また、投票所として考えても多くの人が遠くなり、投票所の大幅な低下につながるであろう。従って統合には絶対に反対である。</p>
75	<p>中核都市等に設置された保健所、感染症対策等地域保険の重要な役割を担ってきたが、94年より約400か所が統廃合されてきている。最近では芦屋と宝塚の保健所統合の動きがあるようです。このような時に、突然表れた新型コロナ禍騒動で、どのような緊急対応ができるのか疑問です。 市設置の保健センターの健康相談、保健指導、検診等だけでは命を守ることができない。 保健所は減員から一転増員が求められている。緊急時対応が必要であると考えられます。 春日集会所の統廃合計画が発表されたが、南海大震災の発生確率が高い中、避難所としての集会所が無くなる事は大変残念な事で、一度無くなれば復活はできない。 打出教育センターとの一体化で、文化的価値の違いで打出教育センターを残されるように考えられますが、実用面では、救急搬送、緊急物資の搬送搬入等輸送面においても広い道路に面したところにある方が望ましく、道路事情が混乱する中で狭い打出教育センターよりはずっと利用し易いと考えられます。 過去の教訓を生かすべきである。地域コミュニティへの影響もあり存在価値は大きい、できるだけ両方、残存する方向で再検討願いたい。</p>
76	<p>災害時の避難所として必要。地域開催の行事・集会時に必要。</p>
77	<p>40年近く地域に密着している春日集会所を存続させて欲しい。</p>
78	<p>住民の交流の場であり、何よりも大規模災害時の避難場所である春日集会所がなくなる事は大変困る。</p>

通し番号	元の意見
79	<p>地域の住民も段々高齢化している中で春日集会所がなくなる事は近くに避難所がなくなってしまうので大変困る。やはり老人が多くなって来ているので近くに集会所がなくなる事で利用出来なくなるので地域に密着している春日集会所を存続させて欲しいと願望します。 老人になると足(脚)腰が悪くなる人が多く遠くなるとほとんど利用不可能です。</p>
80	<p>④私は春日町で生まれ育ちました。集会所には深い思いを持ってます。年老いた両親が住む春日、避難所が遠くなるのは大変心配です。 ⑤身体不自由な老人達の楽みの場所を奪わないで下さい。近々にも南海地震が迫ってきてます。避難場所がなくなるのは※大反対。市の係の方よく考えて下さい。 ⑥父母の話では、区画整理が終わればすばらしい春日町になれると、減歩率を10%土地を協力したとの事。急に統廃合等怒りだそうです。上手に言われ調印し、芦屋市にだまされたと怒っていました。反対。</p>
81	<p>1995年の阪神淡路大震災を経験している住民にとって、40年近く地域の住民と密着して憩いの場となっている春日集会所は重要な避難施設です。その施設が打出教育文化センターに統廃合されて閉鎖されることは長年、近くに避難施設があることによる安心感がなくなり、日常生活にも影響を及ぼします。特に高齢者の方は歩くことも容易ではない方もいらっしゃいますのでできる限り近くに避難施設があることが望ましいです。よって春日集会所を絶対に閉鎖しないで下さい。</p>
82	<p>「春日集会所」を存続させてほしいです。 (理由) ①地域活動の拠点としていろいろなグループが利用している。 ②避難場所として集会所があてられ、高齢者や乳幼児が避難する場所がより近い場(住居より)にあるべきと考える。 ③打出教育文化センターとの統廃合となると住民人口的に広さが足りないと思う。</p>
83	<p>集会所が無くなると老人会、歌会など現在は、コロナで中断していますが、「いいい場」がなくなるのはこまります。</p>
84	<p>大規模災害時の避難場所としての春日集会所がなくなる事は断固として反対します。阪神大震災時には多くの住民が多いに活用し、有がたく思った場所です。地域に密着した春日集会所が存続してくれる事を切に希望します。</p>

通し番号	元の意見
85	大規模な災害が年々増えてきているのに近くの避難所である春日集会所がなくなる事は大変困ります。安心してくらすためにも春日集会所の存続を望みます。
86	集会所の存在は、地域のコミュニティへの参加、形成に重要なものです。そのような集会所の統廃合により、一つの集会所を起点とする地域コミュニティが広域になればなるほど、住民の地域コミュニティへの参加や帰属意識が困難、希薄となり、住民同士が協力し合って安心、安全な生活を送ることができなくなるのではと思います。
87	春日集会所が統廃合される計画について。春日集会所は市より避難所にも指定されています。また、いつも子供たちや高齢者の方をはじめ、たくさんの方に活用され深くコミュニティに根付いています。第5次総合計画の概要でも基本方針を構成する3つの視点の1つとして「人のつながり」がありました。春日集会所は春日町住民のみならず、近隣の町の住民にも活用されるなど、人のつながりの拠点もあります。統廃合について再考していただくことを望みます。よろしくお願いいたします。
88	亡き母もよく老人会で春日集会所を利用していたので長い間この地域に住んでいる住民としては、思い入れがあり心のより所になっている春日集会所を存続させて欲しい。地震・台風・大雨などの災害時の避難場所として近くて場所がわかっている所の方が避難しやすい。とくに小さな子供や、老人がすぐに行ける場所として地域住民にとっては、春日集会所はなくてはならないと考えています。
89	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日集会所の統廃合に反対します。打出神社まで歩くのに10分かかるのに、災害時不安な気持ちで早足で歩かせるなんて年寄にはムリ。</li> <li>・春日公園北半分の必要性が感じられない。プレハブでいいから集会所をそちらへ移してはどうか？</li> <li>・ついでに、鳴尾御影線日が暮れたら歩道まっ暗。街灯を車道に向けず、歩道に向けてほしい。避難は昼間とは限らない。</li> </ul>
90	高齢で脚の悪い両親が二人で暮らしています。避難場所が遠くなるのは心配です。集会所では多くの高齢者がアクティビティを楽しんでいると聞きます。そんな場所が無くなるのは気の毒です。私も春日町で生まれ、両親も区画整理の為、土地を提供し協力したと聞いています。大反対です。

通し番号	元の意見
91	春日町のリビングとも云える憩いの場所又避難所と町民にとっては春日集会所は絶対に身近に置いて欲しい大事な存在です。春日町民の思いを無視した様なやり方(行為)に反対します。小さくても古くても大事な建物(存在)です。
92	阪神大震災で春日集会所で避難所としてお世話になりました。南海トラフ地震も近く、地域拠点としての春日集会所の存続を切に願うものです。
93	地震や大雨災害が多発する近年、やはり身近の避難所がなくなるのは不安で困る。春日町はほかに人が集まれるような場所がないのでぜひ存続してほしい。
94	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40年近く地域に密着している春日集会所を存続させて欲しい。</li> <li>・大規模災害時に避難所がないと困る。</li> <li>・両親の葬式を執り行って頂きありがとうございました。</li> </ul>
95	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府が今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率が高いと予想している中で避難所になっている春日集会所がなくなることは絶対反対です。</li> <li>・両親の葬式を執り行って頂きありがとうございました。</li> </ul>
96	大改修はご不要なので、春日集会所を存続下さい！！春日集会所は建物の美しさも、管理人さん方の尽力も素晴らしいですから、ぜひ残して下さい！こちらで10年以上、ヨガをさせて頂いているメンバーとしてぜひおねがいします！
97	フィットネスができる場所がなくやっと見つけたお部屋です。永く元気で生活できる様に運動に励んでおります。大切な場所を取り上げないでください。
98	大規模災害時のために残してほしい。コロナで保健所が大変なように統廃合してしまうとよきめ細やかな住民サービスができないと思う。



通し番号	元の意見
99	集会所はなくさないでほしい
100	<p>まずは、前提として「市民意見募集」の在り方への意見を述べる。  かつては「広報あしや」に募集の件名とともに、その説明も付して掲載された。  ところが今回は件名だけ。  主権者たる市民に大いに意見・提案を出してほしいとの意欲の後退(欠如)を感じる。  11件もの意見募集であるから、当然ながら関係するテーマ(とくに総合計画、行財政改革、公共施設などは個々の施策にすべて関わる)があるが、応募する際は「個々の件名に応じて」ということになっている。  以上のように、「市民意見募集」についての「総論的な意見」も出しやすくしていただきたい。  そのうえで、本件についての意見を述べる。  そもそも、市が公共施設全体の管理を一括して民間に委託したことはたいへん乱暴なものだ。  その延長線上に本構想も打ち出されたのだから当然と言えば当然かもしれないが、まったく容認できない。  なかでも小学校の統廃合を、予測される生徒数だけ明記する感覚は恐ろしい。教育委員会や当該の先生方や父母たちに意見を聞いたのだろうか？  このような「構想」は抜本的な見直しを求めたい。</p>
101	<p>公共施設の最適化構想は、まず現状の課題として人口減少をあげ、厳しい財政状況を想定し、それを踏まえていきなりプロジェクトの概要として、春日集会所の閉鎖や山手地区の小学校1校の閉校などを掲げている。  集会所、小学校が削減の対象になることは考えられない。優先して守るべき施設であり、地域の合意なくして実施すべきではない。こんな時にこそ少人数学級の実現に取り組むとの考え方を示していただきたい。  20年間の構想となっているが、現状の課題である人口減少をどう克服するかについてももっともっと検討すべきと考える。人口減少をくい止める方法として明石市の例が取り上げられるが、若い世代が暮らしやすい街づくりが求められる。安価な公的住居の提供や保育施設の確保などに取り組むことなどを検討していただきたい。  さらに、財政の確保のために国に負担を求めることは地方財政の確保として全国共通のテーマと思う。国の財政をどう使うかは国民全体の大切なテーマであり、軍事ではなく生活優先の考えに基づくべきと考える。</p>
102	<p>地域住民の集いの場として重要な役割を果たしているのが集会所です。  超高齢化社会において、高齢者のコミュニケーション活動や健康長寿を支援する目的では是非とも存続して頂きたいと思います。  現在も週1回健康体操に参加して、良き指導者の元、同年代の方々と楽しく、なごやかに運動する時間が生き甲斐になっています。  健康寿命を延ばすことがひいては医療費削減にも繋がると思います。どうぞよろしく願い申し上げます。</p>

通し番号	元の意見
103	<p>ア 春日集会所の統廃合問題 市立幼稚園・保育所の統廃合・民営化問題、学童保育の一部民間委託問題など、市民の合意なく、結論ありきで進めてきたことは、市と市民の信頼をこわしてきたと思います。今からでも市民とよく話し合い、よく意見をきいて進めてほしいと思います。私は春日集会所は地域にとって大切なものだと思います。(今の場所で)</p> <p>イ. 20年後の小・中学校の再配置・統廃合には反対です。 このようなパブリックコメントの形ではなく、今から具体的に、PTA・学校・地域で考え、話し合う場をつくってほしい。朝日ヶ丘町は幼稚園が民間こども園になり、朝日ヶ丘小学校は、地域にとっても大切です。</p> <p>アンケートについて 問2 公共施設は、市民がより安い料金で使えるように、多くの人に使ってもらえるように、と市が考えるのがあたり前です。今の料金が高すぎます。このアンケートでは、市民を、利用する人としらない人に分けて、利用する人がもっと負担するのがあたり前のように思わせず。</p>
104	<p>最適化と言いながら、施設の「統廃合」で減らしていくことでしょと言いたい。 教育の芦屋といって公立幼稚園が各校区にあったのになくなってしまった。国の政策の先どり子育てしにくいふつうの街になってしまった。又、集会所を減らして地域の交流の場を減らしていくのか、国の言う通りじゃなく住民の声にこたえる市政であれ、人口が減たたとえなくても、地域の中心の小学校、中学校は減らさないと言ってほしい。</p>
105	<p>まず、この公共施設の最適化構想の前提が、人口の減少を前提にしている、「市民の高齢化が進む中でも、もっと住みよい芦屋市をつくるためにどうするか、人口を増やすにはもっとどんな施策が必要か」の視点が全く欠けていること。 現在の市営住宅は、空き家が多くて、維持管理が大変だから統廃合の方針が出てきているのかと思ったら、全くそんな状況になく、申し込んでも入れない人がかなりいると聞きます。 市は、何を考えているのかと怒りがわいてきます。 芦屋市は、市民の中に高所得の方もいると聞いており、財政力が大きいのは良いことです。しかし、我々のようにやっと安価なマンションの一角に住んでいる人や高齢者が単身になられる方も多く、一人の年金では生活が苦しくなってくる人も増えることが予想されることから、市営住宅の需要に増すのではないのでしょうか。 アンケートを取るなら、「今後、市営住宅にはいりたいと思いますか?」「今後、一人暮らしになったらどうしますか?」などの設問をしてみたらどうでしょうか。 こんな市民の要望を募る設問をせずに、「財政削減」の視点だけで施策を決めようとするのは、市民に目を向けない上から目線の誤りです。</p>
106	<p>もともと芦屋市の住民に対する税の還元は他市と比較して少ない。 住民の納税率は全国一と聞いているが、市役所職員の給与は相当高いらしいが住民サービスは住民の感覚としては何も感じない。その上に文化都市と唱いながら図書館のボランティア廃止とか公共施設の合理化を進め何を考え、目指しているのか。 トータルなビジョン目指す処を住民に示しその上で合理化(例えば、職員の給与の全国平均並みにするとか)をした上での集会所の廃止等を考えるべし。</p>

通し番号	元の意見
107	<p>1.基本的な考え方は、故宇沢弘文先生(経済学者)が指摘されているように「すべての子どもが人間らしく健やかに成長していくために教育は非常に重要な役割を果たします。学校教育は儲けを目的にやってはいけなく、国のある理念を子どもに押しつけることがあってはいけません。あるいは1つの宗教的な考え方によって子どもを育ててはいけません。ここで重要なことは、実際に学校を運営し、教育する人たちが教育の専門家としての考え方、理念、規律に基づいて教育していくことです。社会的共通資本としての学校教育は、必ず財政的に赤字を伴うものなのです。膨大な費用をかけて学校を作り、先生を養成し、そして学校を運営していくには、当然収入より支出のほうが多くなります。一般的に言うと、社会的共通資本が果たしている社会的・人間的な役割が大きければ大きいほど赤字も大きいと考えられます」と指摘されています。</p> <p>2.私は、今回の最適構想は教育を資本主義的経済世界に組み入れるものと考えます。宇沢先生が指摘された教育は社会的共通の資本であり、私達芦屋市民の共有財産で、必然的に赤字になるものなのです。費用が大きいかかると言う経済合理性で統合化を促進してはなりません。赤字になるから統合するのは目先の短絡的手段に過ぎません。以前大阪府が病院の統廃合や看護学校の廃止をおこない、現在のコロナ問題に十分な対応ができないことは、目先の経済合理性に走ったことが、今禍根をのこすことになっているのです。</p> <p>3.最適構想は、教育の外側を変えるだけで、教育の中身についての議論がありません。現在の問題である、いじめや不登校はどのように解決するのでしょうか。これこそ子どもたちが望んでいることです。最適化とは、行政の都合だけではなく、市民の都合、子どもたちの都合を熟慮しなければなりません。芦屋市百年の計を鑑み、地域住民レベルで市と対話をしていきませんか。</p> <p>4.学校は子供の教育の場とともに地域住民の話し合いの場でもあるのです。その場は地域づくりの拠点ともなります。地域の学校が統廃合されたら、廃止された地域住民の話し合いの場をどうするのでしょうか。これはお金では解決しない問題です。</p> <p>5.最適化構想の前には、芦屋市の教育問題の解決を地域住民と粘り強く話し合い、お互いが納得してこそスタートすべきだと私は考えます。</p>
108	<p>公共施設の稼働率を公開して、もっと活用度を上げる運動を進めるべき。 大切な資産を単純に古いからとか、利用率が低いからと統廃合を進めようとするには余りにも無理がある。</p>
109	<p>集会所などの公共の建物というものはどういう意味で建てられたものであるのか、という原点に立って考えた時に商業施設などのように良く利用されるとか、集客力が高いとか、市の財政が悪くなった時に売れば助かると言うような考えがもし市の方で持っておられるなら根本的に間違っておられます。芦屋市は世界一の市をめざすと聞いています。今の場所に、後世に残るようなりっぱな集会所に建て替えるというなら、理解出来ませんが廃止して売ってしまうというのはまったく理解出来ません。世界一をめざす芦屋市はさすが志が高いと言う所を見せて下さい。せっかくカンバンなどの表示物を撤去しきれいな芦屋にして行こうと進められているのですから志を高く！</p>
110	<p>町にひとつの集会所は必要です</p>
111	<p>1、質問及び意見 「体育館・青少年センターの再配置」とは別の場所に建て替えることか？ 青少年が遊び場がなく、体も鍛える場がない現在、また高齢者が健康で長生きするために(健康寿命)各種スポーツ参加が望まれる。現在の精道体育館の利用率は非常に高い。現地に建て替える場合、総面積を拡大する、2カ所設置する場合は、一つは、潮芦屋に防災避難施設を兼務した体育館を設置すべきである。</p> <p>2、意見(学校施設の統廃合) 原案は、該当年齢児の縮小からの観点であるが、地域コミュニティの在り方、地域住民が寄り合う場所、災害避難施設等多面的角度で検討すべきであり、人口減少のみを理由とする単純な考えには同意できない。</p>

通し番号	元の意見
112	50年以上春日町に住んでいますが春日集会所は投票の時に行くだけでどのように使用されているのか全く知りませんでした。実際どの位の方がどのように使用しているのでしょうか？今回、春日集会所統廃合に反対する方の声として「卓球ができる」「教育文化センターまで投票に行くのは大変」「避難所になっている」等を耳にしました。避難所の件は別途考えなければならないとして卓球や投票については春日集会所近くにお住まいの方一部の意見だと思います。春日町の西よりに住んでいる者にとっては打出教育文化センターと猿公園の一体的整備の方に賛成です。
113	1. ぜひ聞いてください。どの項目にも入らないと思いますが、広報あしやのタイトルは今まで通り、平仮名・漢字を大きくしてください。アルファベットが大きくて、どこの宣伝チラシかとまちがえます。馴染みません。おでかけカレンダーはグッドアイデアです！ 4の公共施設について 小学校児童数は、この項目に入るかどうか分かりませんがよろしくお願いします。 今、政府は全国一律に来年度より順次5年計画で小6まで35人学級実施を決めました。大変喜ばしいことです。そこで、芦屋市でも更に枠を上げ来年度に小6まで35人学級を実施して下さい。且て教師をしていましたか42人学級と30人学級では教師1人の目配りの時間は多くなり心のゆとりが生まれます。明日も学校へ行こうという児童の生々した行動が生まれます。当面のコロナ対策には不可欠なことです。財源を確保して下さい。
114	近年、天災が多く、心配しています。そんな最中集会所が統廃合するなんて絶対反対します。
115	年が年なので足腰が悪く、遠くなると行けるかどうか心配です。是非残してください。